

特定非営利活動法人(NPO)

兵庫書写・書道教育協会 理事長挨拶

古 溝 茂(幽 畦)



協会発足5年目、「兵庫書写・書道コンクール」並びに「兵庫書写・書道フェスティバル」も令和8年度は第4回目を迎えます。協会役員の並々ならぬご尽力と賛助会員の皆様からの絶大なるご支援を頂き、少しずつではありますが所期の目的としての事業に近づいてまいりました。改めて感謝申し上げます。

さて、今年の11月30日～12月5日、中国アモイで行われる政府間協議において書道がユネスコ(国際教育文化機関)無形文化遺産登録へ向けての最終審議が予定されています。書道界挙げてのこれまでの取組が叶う日が待ち遠しい限りです。

日本の伝統文化である「書道」は、「文房四宝」筆、墨、硯、紙をはじめ、多様な用具用材を用いて表現が行われます。その表現にあたっては様々な技法を習得し、それらの技法の追究と応用によって、高度に美的な表現が生み出されてきました。これらの技を未来に向けて保存・継承していくためにも教育の場はもちろん子どもから大人までその文化に触れ、楽しむことができる「こころ」を育てたいと願います。

ユネスコ無形文化遺産登録がなされてもその後の取組が大切で「書道」の保持・継承のための活動を怠ることはできません。本協会は兵庫県内小・中・高等学校並びに大学と共に、書写・書道教育に関する事業を行い、また書写・書道に関係する様々な団体や人材を「つなぐ」をコンセプトとし、書写・書道教育を支援し、次世代へ継承していこうと考えています。中学校の部活動も地域移行という時代を迎える中で、学校現場だけでなく地域社会はもちろん書道団体やNPO法人との連携をしながら子どもたちの育成に少しでも寄与できる活動にしていきます。

最後になりますが、書写・書道教育支援のための活動に取り組んでまいりますので、引き続き皆様方のお力添え何とぞよろしくお願いいたします。

令和8年4月1日 記

古溝 茂(幽畦) プロフィール

- 【略 歴】 昭和54年3月 大東文化大学文学部中国文学科卒業
- 昭和54年4月 神戸市立岩岡中学校(奉職)
- 昭和59年4月 神戸市立兵庫商業高等学校
- 平成 5年4月 神戸市立神港高等学校
- 平成19年4月 神戸市立神港高等学校 教頭
- 平成21年4月 神戸市立神戸工科高等学校 教頭
- 平成23年4月 神戸市教育委員会事務局指導部人権教育課 指導主事
- 平成24年4月 神戸市立神港高等学校 校長
- 平成26年4月 神戸市立神戸工科高等学校 校長
- 平成29年3月 神戸市立神戸工科高等学校 校長 (退職)

【教育実践】

- 昭和60年～ 全国高等学校総合文化祭書道部門に22回出展指導
- 平成5年 神戸市教育論文佳作受賞
- 平成6～23年 市民書道公開講座14年間実施 修了生 延べ750名
(豊岡市・赤穂市・吉川町・洲本市・大津市などと交流展及び交流会実施)
- 平成7～9年 神戸市小中学校書写指導員
- 平成8年 全日本高等学校書道教育研究会(兵庫大会)で研究授業
(栃木・熊本大会で発表)
- 平成10年 文部省主催 第227回教員等中央研修受講
- 平成16年 文部科学省主催 教員海外研修派遣(中国北京・大連16日間)
- 平成24年 文部科学省主催 全国主事研修で学校評価に関わる実践発表
- 平成29年 兵庫県高等学校総合文化祭で記念講演 「漢字仮名交じりの書」
- 令和 3年～ 兵庫県書作家協会主催の書写・書道教育研究会
「新学習指導要領の解説と運用について」の講演
神戸・尼崎・豊岡で開催

【在職中の主な役職】

公益社団法人 全国高等学校文化連盟 理事 (H26・27年)

公益社団法人 全国高等学校文化連盟書道専門部 部会長 (H26・27年)

全日本高等学校書道教育研究会 会長 (H26～28年)

全日本書写書道教育研究会 副理事長 (H26～28年)

兵庫県高等学校文化連盟 副会長 (H24～28年)

兵庫県高等学校教育研究会書道部会 顧問 (H26年～)

兵庫県市立高等学校 校長会会長 (H28年)

神戸市立高等学校 校長会会長 (H28年)

神戸市立高等学校芸術部会 会長 (H24～28年)

【現在の役職等】

- ・公益社団法人日展会友 特1回
- ・読売書法会理事
- ・公益社団法人日本書芸院理事
- ・兵庫県書作家協会理事長
- ・日本篆刻家協会副理事
- ・日本書写技能検定協会評議員並びに兵庫県審査委員長